

# 日釣振だより

題字は小淵恵三氏 筆

## JAPAN SPORTFISHING ASSOCIATION

2010.2. No.60

### 宗像大島における日釣振及び釣り人・行政・漁協・地元が一体となった「漁業振興と地域活性化」に対する取り組みについて

日釣振 副会長 兼 九州地区支部 支部長 高宮 俊諦

福岡県宗像市では、国交省が推進している離島振興事業の指定を受け、宗像大島港地域再生事業に取り組んでいます。宗像大島は、人口800人弱の過疎化の進んだ離島で、主な産業は漁業ですが、漁業自体も燃料の高騰や高齢化を受け、少しずつ衰退をしている状況です。

その様な中、前述の離島振興事業の目玉の一つに、「大島海洋体験施設」の建設が決まり、2008年の春、宗像市の行政の方々が日釣振九州地区支部に、2011年春オープン予定の大島海洋体験施設全般について、特に体験施設内の『釣り堤防』や『海洋釣堀』についての協力を求めてきたのが始まりでした。

その後、数度の打ち合わせを経て、2008年7月に「第1回宗像大島クリーンアップ作戦」が開催されました。これは、宗像市長及び漁協組合長が先頭に立ち、大島島民、宗像漁協、宗像市、一般ボランティア、そして日釣振九州地区支部・福岡県支部が一体となった、700人規模の画期的な取り組みとなりました。このクリーンアップ事業は、宗像大島の海岸清掃だけではなく、漁業者やダイビング協会と連携をとった海底クリーンアップも行われました。翌年の「第2回宗像大島クリーンアップ」では、海底クリーンアップに加えて、更に日釣振主催で、釣り人に人気の高い「カサゴ」の放流がオープンを見越して行われました。

一方、宗像市や大島漁協側も、今回の計画成功のため、日釣振九州地区支部・福岡県支部・三重県支部の協力で、海洋釣堀が非常に盛んな三重県への視察等も実施し、成功に向けてノウハウの蓄積に努めています。また、漁協も、「日本一釣れる釣り公園にして、釣り人に喜んでもらおう」と新設される堤防周辺を禁漁にするなど、サービス向上のため多くの計画を立てております。

現在では、この事業計画成功のため、上記の関係団体が一体となって、クリーンアップ清掃・放流、広報、企画等で非常に緊密な協力体制が取られ、本年3月には、海洋体験施設の運営会社となる「(株)むなかた大島」が創設されます。(株)タカミヤやグローブライド(株)など、地元の日釣振関係企業も9社が株主として出資をします。

又、本年は、2011年春オープンに向けて、第3回目となる宗像「クリーンアップ作戦」、そして秋にはプレオープンイベントの釣り大会も開催する予定になっています。

シーズンオフの採算性など難題もありますが、来春オープン予定の本事業を何とか成功させ、地域を活性化させる新たなモデル事業にしたいと、行政、漁協と釣り人が一丸となって取り組んでいます。地元からの日釣振に対する期待の大きさ・強さをひしひしと感じておりますが、期待に応えられるよう、又、全国各地でこのような事業が導入できるように、全力で協力・取り組みを行って参る所存です。

#### 大島海洋体験施設(仮称) 運営会社概要(案)

- 会社名：株式会社むなかた大島
- 資本金：850万円(最大990万円)
- 出資者案：宗像漁業協同組合 400万円  
 発起人(7名) 100万円  
 島関係者(島民・島外在住島出身者) 150万円  
 民間企業 270万円  
 ・漁協関係企業 5社  
 ・釣関係企業 9社  
 (株)タカミヤ、(有)吉田釣具店、(株)ルミカ、  
 グローブライド(株)、(株)ダイヤフィッシング、  
 (株)釣研、(株)フィッシングワールド、  
 (株)ハヤブサ、(株)デュエル
- 取締役案：発起人 3名(コミュニティ会長、漁協組合長、漁協理事)  
 島代表者(元気な島づくり事業推進協議会会長) 館長(大島出身市役所OB)  
 民間 1名(釣関係者より)
- その他(協力依頼)  
 技術指導、協働事業、講師派遣等：(財)日本釣振興会、  
 (株)タカミヤ、  
 グローブライド(株)、  
 九州磯釣連盟

#### 日本一釣れる、地域の人々に喜ばれ愛される海釣り公園を目指して

● 海(自然)を活用した事業  
 ・シーカヤック運営  
 ・海辺での体験イベント運営  
 ・釣りインストラクター

● 物品販売事業  
 ・水・エサの販売  
 ・釣具のレンタル・販売  
 ・魚介類・海産物・加工品等産品販売  
 ・弁当・飲食の販売

● 施設を利用した事業  
 ・釣り場運営  
 ・防波堤釣り運営  
 ・プレジャーボートステーション運営

魚釣り教室  
 管理棟  
 シーカヤック  
 釣り堤  
 プレジャーボートステーション  
 磯観察  
 釣教室

大島がこれからも元気に暮らせるまちにするために  
 大島海洋体験施設の開設によって  
 様々な島民が潤う新しい島の産業おこしをしよう!

パース提供：福岡県北九州県土整備事務所